



楽しく充実した一学期です！

1. 小：PTA読み聞かせ－（7/15）

今学期最後の読み聞かせ、1～3年生の教室では、上地智美さんが「寝る前なぞなぞ1、2年生」を、4・5年生では、一ノ瀬葵さんが「天ノ岩戸アマテラス」を読んでいただきました。その影響か、ゆうたさんからなぞなぞ「持とうと思っても持てない物はな－んだ」が出されました。皆さんは分かりますか。保護者が読まれた本が児童に影響を与えているんだと、読み聞かせの効果を実感しました。一ノ瀬さんが読まれた「天ノ岩戸」は、天照大御神が弟の須佐之男命の乱暴を避けて隠れたとされる洞窟で日本神話に登場するそうです。普段、触れない貴重な本を紹介していただき、ありがとうございます。保護者の皆様のお陰で、読書好きな児童が増えていると思います。一学期中のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。2学期も楽しみにしていますので、よろしくお願いいたします。夏休みたくさん読書してくださいね。お願いします。



2. 交通安全教室－（7/15）

夏休みを安心・安全に過ごすために全校生徒を対象とした交通安全教室が行われました。八重山署から金城さん、交通安全協会から東江さんをが来校し、自転車に乗る前のチェック項目（ブタハシャベル）や乗っているときのルール（自転車安全利用五則）を説明しました。講習の後、自転車に乗りながら交差点での注意点を確認しました。協力してくれた緑さん、薫風さん、誠士さん、愛星さんありがとう。今回の内容を少しでも記憶して、自分の命、周りの命を守り、楽しい夏休みにしてください。



3. 中：八重山商工高校体験入学－（7/16）

3年生は、上級学校の内容を理解すると共に、自らの適切な進路選択をするために必要な情報収集を目的に、八重山商工に体験入学しました。商業科に稔理さん、遥さん、工業科に芹菜さん、愛星さんが参加し学科の特徴を知ることが出来ました。愛星さんに、進路は決まりそうですか。と尋ねると、農林高校まで体験して決めますと話していました。将来を決める大切な選択です。ゆっくりと、じっくりと考え、周りの人たちにも相談して、納得のいく答えを出してくださいね。引率の敬太先生、直大先生、ありがとう。（写真はありません）

4. 中：スピーチ集会－（7/16）（原文）





少子高齢化 中2年 伊敷 愛羽

突然ですが、皆さんは日本が直面している「少子高齢化」について考えたことがありますか。私は、身の周りで子供の数が少なくなっていると感じ、少子高齢化について調べてみました。まず、少子高齢化とは子供の生まれる数が減っていて、お年寄りの割合が増えていることをさします。日本では高齢者の割合が約30%を占めています。少子高齢化の原因は、結婚・出産を選ばない若者の増加や、時間、保育園の不足などによる子育ての負担、医療の進歩で高齢者が長生きになったことと考えられているそうです。

少子高齢化によって、働く人が減り、社会全体を支える人の数が減る、また、人口減少により学校やお店がなくなるなど、地域社会が衰退していくなどの問題が生じています。これに対し、日本では働き方改革や子育ての支援、また、地域社会の活性化として、多世代交流の促進などの対策を行っているそうです。

私は、このような過疎や人口減少を「自分には関係ない」と思わず、「自分たちの未来」として考えていくことが大切だと思いました。私達でも、日頃から高齢者との関わりを大事にしたり、少子高齢化について知ったことを身の周りの人に話すことはできると思ったので、これから自分にできることはしていきたいです。皆さんは少子高齢化に対してどう考えますか？

赤土流出問題について 中1年 小田 雄詞

皆さんは、沖縄県の「赤土流出」という問題について、知っていますか？沖縄県の島々では、まとまった強い雨が降ると、開発現場や農地、米軍の演習場などから土壌が川や海へ流出し、このように、海を濁らせてしまいます。(図一を見せる)この現象のことを、「赤土流出」といいます。

赤土汚染は、沖縄だけでなく同様な亜熱帯の島々の鹿児島県奄美群島でも深刻な社会問題になっており、東京都小笠原諸島や海外のサンゴ礁の島々でも問題になっているといわれています。赤土の流出は、赤土等が流出しやすい自然的要因に、開発工事のような人間活動が加わることで起きやすくなります(図二をみせる)。土壌や陸の地形などの自然的条件に、開発事業や軍の演習などが重なったりすることで、赤土による汚染が起こってしまいます。赤土が流出すると、サンゴ礁が破壊され、海の生態系が崩れたり、生き物のすみかが無くなってしまったりします。それにより、水産業や観光産業にも悪影響を及ぼしてしまいます。このように、赤土流出による被害は、私たちにも大きな影響を及ぼします。このような被害は、どうすれば防いだり、軽減したりすることができるのでしょうか？(図三を見せる)令和三年度の赤土流出量のうち全体の八十一パーセントが農地からの流出であり、農地からの流出防止対策が大きな課題となっています。そのため、畑の周りに植物を植え、濁水(だくすい)がそこを通るときにろ過されるようにしたり、畑の傾斜を緩やかにして水の流れを弱めたりするなどの対策がとられているようです。また、マングローブ林は赤土の堆積(たいせき)を促進(そくしん)する効果があるので、赤土の海への流出によるサンゴ礁の被害を軽減することもあります。

今回私は、赤土流出について調べましたが、意外と身近にもたくさんの被害が出ていることを知り、まだまだ知らない問題がたくさんあるんだな、と感じました。わたしはこのことを多くの人に伝えて、たくさんの人に知ってもらおう6ことが、大切だと思います。これで私の発表を終わります。

M-PASA 中1年 花谷 春馬

皆さんは、「エムペサ」というものを知っていますか？エムペサとは、ケニアを中心に、アフリカで広く利用されているモバイル送金サービスです。携帯電話のショートメッセージだけで、簡単にお金を送ることができます。先進国のように銀行やATMが無い地域が多く、ケニアではほとんどの人が銀行口座を持っていません。そのため、エムペサは生活に欠かせないものとなっています。また、ケニアでは携帯電話の普及率がとても高く、エムペサは八十パーセントもの人々が利用しています。二〇〇七年にスタートしたエムペサですが、サービスも進化し、今では送金以外にも、支払い、預金、引き出し、ローンなど、様々な取引が可能になりました。僕がエムペサを知ったのは、あるボランティアに参加したことがきっかけです。ケニアの貧困地域である、サウスランドスラムの人たちを支援するというもので、僕は今年の四月から始めました。この三か月間で、三人のケニアの人とリモートで交流をしました。僕が初めて参加した「食糧支援プロジェクト」で出会ったマリアさんが、このエムペサを利用していました。マリアさんは三十八歳で、五人の子供がいます。マリアさんは左足が悪く、ちゃんと働くことが出来ないのが、子供の教育費の支払いに困っているそうです。食べ物やお金を支援してほしいことや、将来は小さなカフェを開くことが夢だということを教えてくれました。マリアさんとのリモート中に、僕たちの支援金のマリアさんのエムペサへ送金されました。送られたのは「三千シリング」で、これは約一か月分の食料が買える金額だそうです。お金を受け取ったマリアさんが大喜びしていたのが印象的でした。そしてそのままお店へ行き、買い物をしているとリアルタイムで見ることができました。購入していたのは、チャパティ、お米、ウガリ、リプトンの茶葉、油の量り売り、ヨーグルトです。ヨーグルトは子供たちに大人気だそうです。冷蔵庫がないので常温保存だと言っていました。チャパティというのはナンのような食べ物で、贅沢品だそうです。ウガリというのは、トウモロコシの粉を水で練った食べ物です。マリアさんは、「皆のおかげでこうして買い物が出来て助かりました。ありがとう！」と言っていました。このマリアさんとの交流で、ぼくはエムペサというすごいサービスを知ることができました。またいつかの発表の機会に、僕が交流したケニアのスラムの人々について紹介するので楽しみにしてください。



僕の気になること 中2年2組 新垣 博幸

皆さんは7月に地震が起こると言われている噂を知っていますか？最近ではニュースやネットなどで様々な情報が流れています。この本はたつきりょうさんという漫画家が、夢で見たことが現実になるという現象を漫画にしたものです。2025年の7月に大災害が起こると言われていますが、これはたつきさんが言っているのかは不明ですので、全てを信じないでください。しかし、たつきさんはこれらの著書を通じて、2011年の3月に大災害が起こると何年も前から予言し、東日本大震災が本当に起こりました。一時期たつきさんの一冊の著書が10万円代～50万円代にもなったそうです。噂のひとつに、去った7月5日に大震災があると言われていましたが、もう5日は越えましたね。しかし7月に何か起こるかも知れません。信じるか信じないかはあなた次第です。仮にもし地震などの災害が起こらなくても、対策はしておくべきだと思います。皆さんは防災バッグを家で準備していますか？今日は僕の防災バックの中身を紹介します。1. 携帯(何かと必要です)2. SWITCH(暇がつぶせます)3. 携帯・SWITCHの充電器(停電したら無駄です)4. にわとり！(お腹がすいたら卵を産んでくれます)5. ゲンキクール(飲んだらゲンキになります)6. 飼い犬(犬は地震に敏感です)7. さとうきび(糖質は思考を働かせます)いつくるか分からない自然災害ですが、皆さんも準備してください。自分の身は自分で守る。

5. 県中体連出場選手激励会ー (7/17)

選手激励会で素敵な挨拶と楽しいダンスを児童会の3名が披露していました。ダンスはお見せできませんが写真で感じ取ってください。激励の言葉は、次の通りです。面白いですよ。

児童会代表 花谷 緑:バドミントン部のみなさん！ついに県中体連がやってきますね！おっと、その前にまことさんせりなさんみのりさん、県中体連出場おめでとうございませう。県大会では、皆さんの、けた違いな動きを相手に見せつけてやってください。5年生からのアドバイスがあります、1つ目は、光のスピードでスマッシュを打つ事です。2つ目はシャトルが「あがー！」というまで打ち続けてください。補償はしませんが、この2つを守れば勝てると思います。また、試合では石垣牛のように粘り強く、サトウキビのように真っ直ぐな気持ちで戦ってください。ファイト！名蔵の三銃士たちよ。(児童会(5年生)、最高、いつも素敵な内容を準備してくれてありがとう。)



6. 小：お楽しみ会ー (7/18)

緑さん、何をしていますか分かりますか。実は、隠れています。その後ろのゴミ箱の隙間にも誰かいますね。1学期最後のレクリエーション「お楽しみ会」を児童会が計画、かくれんぼ、トランプ、オセロをしました。かくれんぼでは、こんなところに入るのと大人がビックリするような場所もスイスイと入り、職員の度肝を抜いていました。子供たちの柔軟性に驚かされました。トランプでは、ババ抜きなど、オセロでは、経験の差は隠せないようで、全で一色になっているテーブルもありました。最後は、全員でコッパリを食べ笑顔になりました。児童会に感謝



7. 中：なぐらんピックー (7/18)

中学生も負けていません。生徒会がなぐらんピックを行い、絵しりとり、ワールドウルフ、げんぺいで競い合いました。絵しりとりは、自分では分かりやすく表現しているつもりでも見る人の捉え方によって次の絵が決まります。ライス、スシ、シカ、のように続けていきます。最初をごはんと判断したら、先には進みません。ここは作戦。ワールドウルフはグループの中から仲間はずれを探すゲームで心理戦です。げんぺいはボールを持った人が周りの人にヒットさせるとその人の勝ちですが取られると負けになります。運動量が多く私は参加できませんでしたが、見応えありました。生徒会の皆さん楽しい企画ありがとう。

